

議事録

会議名：第27回中四国学生剣道連盟理事会

- 日時：2007年12月8日PM2時00分より
- 場所：広島県立総合体育館・地下1F・中会議室
- 構成員：33名
- 参加者：湯村正仁、大森博之、小倉 肇、木谷直俊、森 正典、榊 康守、木原資裕、草間益良夫、石井博貞、境 英俊、竹内善一、香川直己、廣畑栄三、宮本理幸、矢野宏光、西田悠作、山地裕士、岡田雄太、岡田尚子、小野瀬朱美、池澤勇樹、古家甲斐、藤井絵里子、吉原 唯、浅田竜至、寺田翔太、寺谷優香、塩江康之、岡本知子（以下委任状により出席と見做す）山神眞一、橋本紘樹、浅越康太、北村泰彦以上33名、欠席者：0名

オブザーバーとして、藤原崇郎、村井慎治、岡崎啓史

上記の通り、全体の3分の2以上の出席があった為、本会議は適法に成立した。慣例に倣い会長の湯村正仁を議長として議事が進められた。

●記録

氏名：岡田雄太

E-mail：info@tyushi.net（不明点はこちらへ）

Summary：

- 議題1：第26回理事会議事録確認
- 議題2：幹事会報告（学生役員改選&新人戦についての報告）
- 議題3：全日理事会・常任理事会報告
- 議題4：平成20年度大会について（日程及び審判長）
- 議題5：審判員（先輩）養成について
- 議題6：リーゼミについて
- 議題7：剣友会（中四学連・剣友剣道大会）の報告
- 議題8：その他

1. 第26回理事会議事録確認

第26回理事会議事録を一部変更して異議なく承認した。

変更点：その他（東西対抗選手選考委員会で決定する）

（審判者会議&講習会のあり方を今後検討する）

2. 幹事会報告

報告者：西田悠作

- (1) 平成20年度学生役員が別紙の通り改選が行われたことが報告された。
- (2) 中四国学生剣道新人戦について
 - ・団体戦の審判員がどのように交代するかについて議論が行われた。
 - ・男子は1試合の中で3人の審判が2・2・3回と分けて主審を担当する。
 - ・女子は2試合連続同じ3人の審判が務め、主審は1試合ごとに3人の中で適宜交代して行う。また、団体戦開始・終了時の礼は全剣連の方針に倣い今大会から1チームごとに行うことが申し合わせされた。

3. 全日理事会・常任理事会報告

報告者：岡崎啓史

報告者：木原資裕

- (1) 全日理事会の議事録が報告された。
 - ・中四国学生剣道連盟の会長が産賀敏彦より湯村正仁に交代した。
 - ・全日本出場枠に欠場が出た場合には各地域連盟で大会参加料は負担する。よって、中四国では繰り上げ等の措置を行う。
 - ・選手権及び優勝大会の審判員構成を中四国を1名から2名にし、主管連盟関西&関東から1名減にする。なお、この地域連盟派遣審判員の費用は中四国の負担とする（中四からは選手権&優勝&女子優勝に各2名を派遣）。
 - ・女子優勝大会のNHKテレビ放映が平成20年度から行われることになった。
 - ・中四国からの全日女子選手権の出場枠が8～9名に変更になる。
 - ・抽選結果を抽選会直後に公表することとした。
- (2) 19年度の東西対抗戦において新目印（垂れにかけて使用）を試行したところ、立ち会った審判員は賛成意見が3分の2、反対意見が3分の1だった。そこで、20年度は全日大会の全試合で新目印を試行し、これを検証することとした（新目印は全日学連が用意する）。なお、中四国では20年度も従来通りのたすき型の目印を用いることとした。
- (3) 19年度の男子東西対抗戦は盛り上がり欠け全体からの評判も悪かった。こ

れを受けて試合内容を改善するための方策を議論した。現行の3本勝負の試合を1本勝負で行うなどの案が出された。

- (4) 全日本選手権大会を1日目は女子、2日目は男子と分けて行なってはどうかという案について議論が行なわれた。

4. 平成20年度大会について

報告者：石井博貞

- (1) 20年度の選手権大会は5月18日、松山コミセン又は砥部の県立体育館で調整している。(後に伊予市民体育館で行うことが決定)
- (2) 選手権の審判長を松山商科大学OBの大城戸功先輩(後に副審判長に決定)に依頼することで承認された。

5. 審判員(先輩)養成について

報告者：矢野宏光

- (1) 平成20年度全日審判講習会を12月13日(土)13時~16時30分に開催。
- ・受講生は全日本学生剣道連盟に登録している中四国の先輩方を中心に、全体で80名ほどの参加を募る(新人戦審判員を60名とし、新人戦の審判員とは別に広島から20名)。
 - ・講師には全日本学生剣道連盟の審判委員会から角正武先輩・林邦夫先輩が来られる予定。
 - ・審判者講習にて試合を行う学生のレベルを向上させていくのも、今後の大きな課題である。各大学から試合者を出してもらい、審判者講習を盛り上げていくなど、工夫していく必要がある。
- (2) 審判員は、前日の審判者講習をできるだけ受けていただくことを条件に願う。但し、他の試合との兼ね合い、大学生の試合は他の試合よりも距離感があるなど、問題もいくつかある。

6. リーゼミについて

報告者：山地裕士

- (1) 日時：平成20年3月8日(土)~3月10日(月)に開催。
場所：国立江田島青少年交流
講師：角正武先生(元福岡教育大学教授)
- (2) 国立江田島青少年交流の家にて視察を行ったときの様子が報告された。体育館や研修室、宿泊棟など使用施設について報告された。

7. 剣友会（全日本大会）報告

報告者：村井慎治

- (1) 平成19年度中四学連剣友会議事録について報告された。
- (2) 香川で第9回剣友大会が開催されたことが報告された。参加チームは過去3番目に多かった（男子72チーム、女子9チーム）。
- (3) 「生涯剣道」を湯村会長に揮毫していただき連盟旗を作製、来年度の10回記念大会より掲げることが決定。優勝旗も来年度に作製する。
- (4) 次回より全国に準じて熟年の部を新たに設ける。
- (5) 中四学連剣友会のホームページを開設した。
- (6) 昨年と今回は八段に合格した先輩が3名おられ、第9回大会の参加費の中からお祝いを渡した。
- (7) リーゼミへの寄付を検討する。

8. その他

- (1) 少林寺拳法部関東学生連合会が作成した新入生勧誘マニュアルを各大学幹事に配布したことを報告した。

以上の議事を終え、本会は午後15時03分、議長が閉会を宣言して散会した。

上記決議を明確にするため議事録をここに記す。署名人はこの議事録が正しいことを以てここに記名及び押印する。

平成 19 年 12 月 8 日

中四国学生剣道連盟 第27回理事会

署 名 人 竹 内 善 一

署 名 人 岡 田 雄 太



次回 MTG

日 時：2008年5月17日

場 所：愛媛大学・教育学部・2号館103教室